



京都市中京区
壬生仙念町30-2
ラポール京都5F
TEL:813-2028
FAX:813-2048
kyoto-human.
u

福祉版 ワ - キングプア

福祉や保育の職場は今、職員が働き続けられなく、辞めてしまつ「職員を募集しても人がこない」「職員が集まらず事業を廃止させるをえないなど深刻な実態がひろがり、その主要な原因が低賃金にあることがはつきりしてきています。

昨年、福祉保育労が協力して行われた福祉人

材確保研究会「代表 佛教大学 金澤誠一教授」の福祉人材確保のためのアンケート調査「結果で正規職員の賃金は月額10〜15万円未満が60%、15〜20万円未満が35.6%、常勤パート（フルタイムパート）では10〜15万円未満が33.8%、15〜20万円未満が32.7%で、正規職員の42%と常勤パートのほとんども20万円未満となつてい

ます。 京都総評が試算した若年単身

者の最低生計費「19万8千円のPCDの貧困ラインも19万8千円」にも満たない賃金で、まさにワーキングプアとなつていきます。 福祉職場でも非正規労働者がどんどん増えています。賃金労働条件は正規職員よりさらに劣悪です。 こうした現状ですから労働組合の役割がますます重要になっていきます。 労働相談から組織化へヒューマン

京都医労連は医療、福祉現場で働く労働者、労働組合が結集する、日本で唯一の医療産業別労働組合、日本医療労働組合連合会の府県組織で正式名称は「京都医療労働組合連合会」です。 06年秋は洛西三コタウン病院労働組合が07年春に日本医療臨床検査研究所労働組合が結成され、京都医労連に加入。 07年秋には病院側からの労働条件の一方的な変更（省勤、

ユニオンセンターの役割がとて大 事になっていふと思ひます。



3〜5月は拡大月間 京都医労連

住宅、家族等の手当の改善)に対し、「宇治黄檗病院職員組合」は裁判準備から提訴へと進めながら組織拡大に取組み新たに病院職員、約130人を組合に迎えると共に京都医労連に加入しました。 京都医労連は3月〜5月を組織拡大、強化月間と設定し、医療の産業別労働組合としての役割を果たせるよう新たに400人の組合員拡大を目標に取り組んでいます。 職場では組合員教科書、組織拡大パンフレットや組合紹介ビデオを活用して新入職員の全員加入運動に取組み退職者に個人加入分会への加入を訴える等、創意工夫し奮闘しています。

保育園？幼稚園？こども園 目のつけどころ、注意点を

今、子どもを預けて働く女性が増えて保育需要が高まり、現状は深刻です。認可保育園には定員以上に詰め込まれているのに、保育園不足で都市部には待機児童があふれています。 公費は出さずに少子化に歯止めを、と進められた小泉規制緩和路線は安倍政権、そして福田政権にしっかりと引き継がれています。その目玉が06年10月スタートの認定こども園制度です。幼稚園と保育園の機能に子育て支援を組み込んだ一元化総合施設として法案審議が始まった当初はマスコミも歓迎していました。成立した法律に従って都道府県で条例化され制度の危険な中身や本当の狙いが判る中でマスコミの論調も変わってきています。

労働契約をしっかりとみる、勤務実態は残す

歯科医院で9年勤めた方、残業代の未払いと退職金等でトラブルに。解決の鍵は、労働条件の明示、仕事の実態の正確な記録、言いたい事は院長にも職員同士でも何でも話せる職場作りでした。

働かせるための昼休み 勤務時間も就業規則は8時40分〜20時まで、募集要項では終業19時半、昼休み1時間40分、就業規則は10分少ない。 その昼休みが問題、連日のサービス残業でした。記録した104日で昼休みに15分以内6回、以下30分55回、45分39回、46分以上が4回、規則通りの日は1度もありませんでした。時間外計算すると平均月1万円の損害。 勤務積んでも評価目減り 在職1ヶ月分の退職金額が3年で3000円、5年では、2800円、7年2250円と減ってゆく計算式が作られてました。退職金は無しでも法律違反にはなりません、これで働き続ける意欲が湧きますか。 この事例の方は算定退職金の2倍以上の解決金の受取りで受結しましたが、経営側に要求し交渉できる労働組合を作ると切さを痛感しました。

06年秋は洛西三コタウン病院労働組合が07年春に日本医療臨床検査研究所労働組合が結成され、京都医労連に加入。 07年秋には病院側からの労働条件の一方的な変更（省勤、

職場では組合員教科書、組織拡大パンフレットや組合紹介ビデオを活用して新入職員の全員加入運動に取組み退職者に個人加入分会への加入を訴える等、創意工夫し奮闘しています。

保育制度には次の3点の公的責任があります。 保育を受ける権利と自治体の保育義務を定めた児童福祉法 最低基準を定め守る義務 地方自治体と国の財政負担義務（公費負担原則） ”子どもを安心して預けたい”と思う私達、現政府の有様はゆるせません